

# 令和7年度 八重東小学校 研究推進計画

## 1 研究主題

### 主体的・対話的で深い学びの創造

～学びの選択と対話の工夫を通して～

## 2 研究主題設定の理由

本校では昨年度、「導入」「練り合い」「振り返り」場面における「発問の工夫（引き出す・広げる・見つける・生かす）」や「対話のさせ方の工夫」を行うことで、主体的で対話的な深い学びの充実を図った。また、「児童の自ら学ぶ力の向上」、「児童の自己有用感の向上」を目指す研究実践を行い、具体的な取組や授業改善につなげた。その中で次のような成果と課題が見られた。

### 【成果】

- ・アンケートの活用や魅力的な単元計画のゴールの設定、子ども同士の関わり合いの場の設定をすることが児童の主体性を引き出すことにつながった。
- ・つながってわーど（話型）の活用や対話に目的を持たせること、対話の仕方を工夫させたことが児童の対話の仕方の上達につながった。
- ・主題について話し合わせたり、児童同士の対話前後の発問を工夫したりすることにより、児童の思考を広げることにつながった。
- ・振り返りの場面での発問を工夫したり、振り返りの内容を意図的使命で発表させたりすることが児童の道徳的価値を高めたり、道徳的实践意欲を引き出すことにつながった。

### 【課題】

- ・型にはまった授業になったり、教師の誘導的な学習展開になったりする場面があるため、学びを選択・調整する場面の設定や児童同士の関わりで多様な意見を出し合い、学びを広げたり深めたりできるようにすると、さらに主体的・対話的な深い学びの充実につながる。
- ・対話等によって、児童がどう変容したか見取る指標があいまいである。児童の姿を3段階くらいに分けて、イメージの共有を図ることで、児童の変容を見取りやすくなり、授業の展開や改善につなげられる。
- ・学びの選択・調整については、今後、理論研修や研究授業を行いながら理解を深めていく必要がある。

そこで、本年は、前年度の研究の成果と課題を土台として、「導入→（児童の考え等を引き出す）」「練り合い→（児童の考えを広げる）」「振り返り→（共通点等を見つける）、（今後の学習に生かす等）」の場面で「指導の個別化」や「指導の個性化」、「協働的な学び」を取り入れることにより、対話的・主体的で深い学びのさらなる充実を図り、児童の自ら学ぶ力と共に学ぶ力を向上させていきたい。

また、児童の変容の姿や目指す姿、対話の姿等のイメージを共有して、児童の姿の見取りのポイントを分かりやすくする。見取ったことを授業の展開や授業改善、研究推進につなげていく。

児童の実態・変容をつかむため、年度始め（5月）、年度中間（9月）、年度末（2月）に児童アンケートを実施し、研究の成果と課題を明らかにしながら、研究を推進していく。

### 3 研究仮説

「学びの選択」と「対話の工夫」を取り入れた授業改善をして、主体的・対話的で深い学びを実現させることで、児童の自ら学ぶ力や共に学ぶ力がさらに向上し、自己有用感を高めることができるだろう。

授業づくりをするにあたり、以下の視点について研究を行う。

- 「導入（引き出す）」での学びの選択と対話の工夫
  - ・児童の興味・関心を引き出す。（ICT 機器の活用など）
  
- 「練り合い（広げる・深める）」の充実
  - ・児童の言語活動の充実のための場の設定を行う。
  - ・児童の思考を広げたり深めたりする発問を工夫する。
  - ・話の往復のパターンを増やしたり、深め方、まとめ方のスキルを向上させたりするとレーニングを行う。
  
- 「振り返り（見つける）（生かす）」の充実
  - ・振り返りの視点を定める。振り返りの紹介をする。
  - ・自己の高まりを自覚し、新たな課題解決の挑戦へとつながるような働きかけを行う。
  
- ※全体
  - ・指導の個別化や指導の個性化、協働的な学びを取り入れながら学習を進める。
  - ・児童の変容を見取り、見取ったことを授業の展開や授業改善、評価に生かす。

### 4 検証の視点と方法

- (1) 理論研修（研究主題に関わる共通認識）
  - ・昨年度の研究成果と課題を振り返る場面を設ける。
  - ・1年間の研究の方向性についての確認を行う。（1学期のなるべく早いタイミング）
  - ・広島県立教育センター等の研修で「学びの選択」に関わる理論研修を行う。
- (2) 授業研究（全職員1人1回以上実施）
  - ・授業研究を行う。（1～6年・特別支援学級）
  - ・研究授業前には、指導案検討と模擬授業等を行う。
  - ・授業後には、授業観察シート等を用いて、観察者による相互評価を行い検証する。
- (3) 検証（児童のテスト・アンケート）
  - ・単元テスト「国語」「算数」を行い、定着しているか検証する。
  - ・年度始めや年度中間、年度末に児童のアンケートを行い、研究の成果や課題を検証する。